

①事業の基礎情報

事業名		市税等徴収事業				担当部・グループ名		市民総合窓口センター 税務グループ				
実施期間		平成 26 年度～平成 29 年度				担当 GL 氏名		山下 浩二				
新規・継続の別		継続事業				電話番号(内線)		52-1111(内線 240)				
縦計計画 (基本計画) 体系	個別目標	(2)将来を見据えた計画的・効果的な 財政運営を行います				予算・事業名 予 算 書 上 の	款	2款 総務費				
	こんなことに取り組みます	市税収入など、自主財源の確保に努めます。					項	2項 徴税费				
							目	1目 賦課徴収費				
	みんなで目指すまちづくり 指標名	自主財源の額					事業名	3 市税等徴収事業				
						総合戦略		□該当する ■該当しない				
		現状値 (H25)	100	実績値 (H26)	106	実績値 (H27)		実績値 (H28)		目標値 (H29)	105	(単位) 億円

②事業の概要

目的 (何をどうするために)	★市税を納期限内に納めていただいている方との公平性を保つため、財産（給与等）の差押え等の滞納処分をより強化する。		
	★収納率向上の実績をつくり、その後、更なる収納率の向上を図るため、預貯金、給与、折衝情報、滞納処分の状況、分納誓約の履行状況等滞納者の情報を一元管理できる滞納整理システムの導入を目指す。		
	対象(誰・何を対象に)	市税の滞納者（平成 27 年 4 月 1 日現在）	対象の数量
最終目標 (最終的に何がどうなれば達成か)	☆毎年度の収納率を向上させ、平成 29 年度末までに、現年度分を 98.6%に、過年度分を 23.9%にすることで自主財源を確保する。		
	☆平成 29 年度については、滞納整理システムの導入により 1,500 万円の収入の増加を見込む。		

③事業にかかる事業費概要

平成 27 年度 (当初予算額)		決算額		主な内容		
事業費総額 (千円)		9,082	4,613	・市税徴収員報酬	1,429 千円	
財源内訳	一般財源	9,082	4,613	・印刷製本費	906 千円	
	特定財源	国・県支出金	—	—	・鑑定業務委託料	523 千円
		その他	—	—	・愛知県西三河地方税滞納整理機構負担金	520 千円 ほか
補助事業・単独事業の別		単独事業	単独事業			

#### ④平成 27 年度の実施内容（目指す姿の実現に向けて、どんなことに取り組んできたのかを整理する）

	何を・どのように・どうした ※箇条書きで記載する	いつ(年月)	アウトプット
実施内容	◆愛知県西三河地方税滞納整理機構と連携し滞納整理を実施	H27.4～	—
	◆愛知県名古屋東部県税事務所と連携し滞納整理を実施	H27.4～	—
	◆県外・県内他市滞納整理の強化	H27.4～	—
	◆機構経験職員による折衝の強化・差押の強化	H27.4～	—
	◆生活困窮者の自立支援推進のため、福祉窓口と連携	H27.4～	—
参画・協働・ 情報共有の工夫	★啓発のため口座振替及びコンビニによる納税が可能であることを周知するチラシを納税通知書に同封している。		
	★納期限ごとに該当する納期限を広報に掲載し、情報共有に努めている。		
進捗状況	概ね順調に収納率は向上している。		
実施内容に 対する成果 (事業の自己評価)	☆ 積極的に窓口折衝を行い、納税意識の高揚及び自主納付による滞納解消を推進した。		
	☆ 職員の個々の能力の向上により、機動的に差押を行うことができた。		
	☆ 市内のみならず県外市外の滞納整理を推進することができた。		

#### ⑤課題と今後の取組みの方向性（平成 27 年度を振り返り、課題を抽出し、今後の取組みの考え方を整理する）

課題	今後の取組みの方向性
<b>（１）実態調査及び財産調査の強化</b> ・自主納付の意思の認められない滞納者に対する実態調査及び財産調査が必ずしも十分ではない。	・臨時職員、再任用職員及び職員により実態調査及び財産調査をまんべんなく行う。
<b>（２）催告等の強化</b> ・滞納者の多い市内、移動の多い県内（市外）及び県外在住者に対する未納のお知らせによる啓発又は催告が必ずしも十分ではない。	・再任用職員及び市税徴収員の活用により、繰越滞納者への催告行為をまんべんなく行い、職員及び市税徴収員により各期現年滞納者への未納のお知らせによる啓発及び催告を十分に行う。
<b>（３）折衝力及び差押の強化</b> ・滞納解消のためには滞納者と日々の折衝を適切にこなすことが必要である。	・財産調査等に裏打ちされた滞納者情報を把握した上、機構経験職員の活用により、日々の窓口における折衝力を強化するとともに、差押も積極的に実施し、戦略的滞納整理を行う。

#### ⑥課題解決に向けた平成 28 年度の具体的なアクション（案）

	何を・どのように・どうする ※箇条書きで記載する	いつまでに(年月)
計画(案)	◆愛知県西三河地方税滞納整理機構と連携しての滞納整理の実施の継続	H29.3
	◆愛知県名古屋東部県税事務所と連携しての滞納整理の実施の継続	H29.3
	◆調査の強化及び催告の強化	H29.3
	◆愛知県西三河地方税滞納整理機構経験職員を活用した折衝及び滞納処分の強化	H29.3
	◆新基幹システムに合わせた滞納整理システムの導入の検討	H29.3
	◆生活困窮者の自立支援推進のため、福祉窓口と連携	H29.3
参画・協働・ 情報共有の工夫	☆口座振替、コンビニ納付についてチラシを送付し自主納付について啓発をする。	
	☆納期限ごとに該当する納期限を広報に掲載し、情報共有に努める。	

特記事項